



## 事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱いこま			
保護者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月28日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	4名
従業者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月28日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	2名
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日			

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	LINEを使用して情報共有している。	保護者より「睡眠時間・排泄・食事・体調」を報告していただき、スタッフ間で共有している。利用時の様子・取り組み内容を毎回報告している。	LINEでの報告や定期的な面談を実施する等、密な連絡を図るようにしている。
2	プログラムミーティングや利用者送迎後の振り返りを実施している。	スタッフの気付きや改善提案を共有し、都度プログラムを更新している。	月一回実施しているスタッフミーティングでスタッフ間で情報の再確認をしている。
3	年に数回の災害訓練や虐待・感染症に関する研修を実施している。	避難訓練を実施する際は、複数の避難経路で訓練している。	研修では、実際の状況を想像しやすいよう実践を踏まえて研修をしている。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内に手すりが設置されていないため、歩行補助が必要な児童には、一人もしくは二人のスタッフが補助についている。	重度心身障害者の受け入れを想定していないため。	身体に不自由のある児童が支援受けやすくなる言動の獲得や、周囲の児童が配慮や思いやりを持てるように支援している。
2	保護者に対するペアトレ等を実施していない。	個々のお困りごとの内容が幅広く、保護者が児童の支援へ向き合う温度差が大きいため。	現状実施している個別面談や相談に対して、助言・対応することを継続する。
3			